

(様式第10号) (第53条、第54条の2、第55条関係)

施工状況等報告書

平成30年 7月31日

長野県知事 阿部 守一 殿

住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号  
氏 名 東京電力パワーグリッド株式会社  
代表取締役社長 金子 禎則  
〔法人にあつては、主たる事務所の  
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県環境影響評価条例第32条第1項の規定により、下記のとおり送付します。

記

対 象 事 業 の 名 称	飛驒信濃直流幹線新設工事業
報 告 対 象 期 間	平成30年 4月 1日から 平成30年 6月30日まで
環境の保全のための措置の状況	詳細は別紙添付資料の通り
対 象 事 業 の 実 施 状 況	4月上旬より工事再開。主な工事内容は、工事用地内の伐採工事、仮設工事、資機材運搬のための道路工事等の準備工事。完了した箇所については逐次基礎工事に着手。一部鉄塔 (No197) では鉄塔組立工事が完了した

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

## 施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植物	イチヨウラン	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月17日に環境保全措置（移植）を実施した11個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・11個体全ての生育を確認し、7個体については開花がみられた。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真イチ -1,2
			5月18日に環境保全措置（移植）を実施した49個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・42個体の生育を確認し、26個体については開花がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
	ヒトツボクロ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月17日に環境保全措置（マーキング）を実施した2個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・1個体の生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ヒト -1,2
			6月20日に環境保全措置（移植）を実施した305個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・156個体の生育を確認し、2個体については開花が、6個体については結実がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。	
6月21日に環境保全措置（移植）を実施した268個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・70個体の生育を確認し、10個体については結実がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。				
ベニバナヤマ シヤクヤク	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	6月20日に環境保全措置（移植）を実施した17個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・17個体全ての生育を確認し、1個体については開花が、1個体については結実がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ベニ -1,2	
		5月17日に環境保全措置（移植及びマーキング）を実施した8個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・8個体全ての生育を確認した。 ・開花・結実個体がなかったため、種の特定には至らなかった。 ・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真ボタ -1,2	

植物	サナギイチゴ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月18日に環境保全措置（移植）を実施した130個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・99個体の生育を確認し、2個体については開花が、6個体については結実がみられた。</li> <li>・生育環境に変化はみられなかった。</li> </ul>	写真サナ -1,2
	オオヤマカタバミ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月17日に環境保全措置（マーキング）を実施した2個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年の生育状況は良好であり、環境影響評価時を上回る31個体の生育を確認し、5個体については結実がみられた。</li> <li>・生育環境に変化はみられなかった。</li> </ul>	写真オオ -1,2
	マキノスミレ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	4月16日に環境保全措置（移植及びマーキング）を実施した461個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・196個体の生育を確認し、53個体については蕾がみられた。</li> <li>・生育環境に下草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。</li> </ul>	写真マキ -1,2
			本年の出現及び開花の遅れを考慮し、6月20日に77個体について、生育状況の再確認を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・77個体全ての生育を確認し、9個体については結実がみられた。</li> </ul>	
			本年の出現及び開花の遅れを考慮し、6月21日に384個体について、生育状況の再確認を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・263個体の生育を確認し、59個体については結実がみられた。</li> </ul>	
	キョウナル シヤクナゲ	移植及び挿し木等	5月14日に伏せ取り木の処置を行った個体について、切り離し作業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・伏せ取り木の処置を行った40本のうち、発根の良好な18本を切り離し、栽培地へ持ち帰った。</li> <li>・高取り木の処置を行った27本については、8本が枯死し、生存する19本についても発根が微弱であったため、継続して設置することとした。</li> </ul>	写真キョ -1,2
			5月23日に環境保全措置（移植）を実施した30個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・27個体の生育を確認した。</li> <li>・生育環境に変化はみられなかった。</li> </ul>	写真キョ -3
			6月末時点の栽培地での活着状況は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・接ぎ木の活着率は32.7%（49本中16本生育）であり、やや低下した。</li> <li>・挿し木の活着率は、平成29年10月に先行して移植した30個体を除くと、11.5%（52本中6本生育）であり、やや低下した。</li> <li>・伏せ取り木の活着率は100.0%（18本中18本生育）であり、安定している。</li> </ul>	写真キョ -4~6

植物	ダイセンミツバツジ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	4月16日に環境保全措置（移植）を実施した10個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・10個体全ての生育を確認した。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ダイ -1,2
	ケヤマウツボ	生育状況や生育環境の変化を把握する調査	5月17日に環境保全措置（マーキング）を実施した33個体について、生育状況や生育環境の変化を把握する調査を実施した。 ・7個体の生育を確認し、3個体については開花が、4個体については結実がみられた。 ・生育環境に変化はみられなかった。	写真ケヤ -1,2
動物・生態系	猛禽類全般	環境保全措置の検討	6月11日に有識者へ、中間結果を踏まえた環境保全措置について説明し、了解を得た。 ・クマタカAつがいの新たに特定された営巣地は、これまでに想定されていた範囲内であったことから、環境保全措置を変更なく行うことで了解を得た。 ・クマタカFつがい及びGつがいについて、5月までに得られたデータから本年が非繁殖年であると判断し、中断していた工事を7月から再開することについて了解を得た。 ・白樺峠におけるタカ渡り観察者に配慮した環境保全措置について、11月の観察者は少なく、影響が軽微であることから、11月中旬までとした工事制限期間を10月末までの期間に変更したことについて了解を得た。	—
	Aつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計10回出現し、営巣地周辺でつがいによる誇示飛翔等が確認された。 ・3月に造巣が確認された巣は落下していた。	写真クマA -1,2
			5月15日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・4月に落下した巣とは別に、同じ木の横枝に作りかけの巣のようなものを確認した。ただし、巣は小さく、繁殖できるような大きさではなかった。	写真クマA -3
			6月25～27日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・出現は1回のみであり、尾根上でとまりが確認された。	—
	Dつがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・1回のみ出現し、営巣地方向への餌運搬が確認された。	—
			5月22日に営巣場所を特定するための観察を実施した。 ・既知の巣で抱卵行動が確認され、繁殖を行っていることが明らかとなった。	写真クマD -1
			6月11日に繁殖状況を把握するための観察を実施した。 ・抱卵行動が継続して確認された。	—
6月28～30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計15回出現した。 ・巣内に座るメスが確認された。雛の姿は確認できないが、時折離巣することから抱雛行動の可能性があった。ただし、雛への給餌行動は確認されなかった。			写真クマD -2,3	

動物・生態系	E つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月26～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計14回出現し、営巣地周辺でつがいによる誇示飛翔や並びとまり等が確認された。	—
			5月22日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の古巣1箇所が確認された。本年造巣したものと考えられたが、繁殖は行われていなかった。また、その他の既知の巣でも繁殖は行われていなかった。	写真クマE-1,2
			6月28～30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計16回出現し、つがいによる誇示飛翔等が確認された。	写真クマE-3,4
	F つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月23～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計23回出現した。既知の巣で繁殖は行われておらず、メスの長時間（1時間以上）のとまりが見られた。	写真クマF-1,2
			5月7～9日に本年の繁殖状況を補足的に把握するための定点調査を実施した。 ・合計15回出現した。既知の巣で繁殖は行われておらず、メスの長時間（1時間以上）のとまりが見られた。また、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	—
			5月21, 23日に本年の繁殖状況を補足的に把握するための定点調査を実施した。 ・出現は2回のみで、既知の巣で繁殖は行われていなかった。	写真クマF-3～5
			6月28～30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計15回出現し、主に営巣地からやや離れたエリアで確認された。また、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	—
	G つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月23～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計14回出現し、営巣地周辺で昨年産まれたの幼鳥が頻繁に確認されたほか、成鳥による餌運搬が確認された。	写真クマG-1
			5月7～9日に本年の繁殖状況を補足的に把握するための定点調査を実施した。 ・合計7回出現した。既知の巣で繁殖は行われておらず、営巣地周辺でつがいの並びとまりが確認された。また、昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマG-2
			5月24～25日に営巣場所を特定するための踏査及び本年の繁殖状況を補足的に把握するための定点調査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われておらず、出現は2回のみであった。	写真クマG-3
			6月25～27日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計8回出現した。オスが出現したほか、営巣地周辺で昨年産まれたの幼鳥が確認された。	写真クマG-4,5
			4月23～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計21回出現し、営巣地周辺でオスによる誇示飛翔が確認されたほか、営巣地方向への餌運搬が確認された。	写真クマH-1
	H つがい クマタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	5月22日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣は大きく崩れていた。	写真クマH-2
			6月11日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・新たな巣は確認されなかった。	—
			6月25～27日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計23回出現し、既知の巣からやや離れた斜面でつがいによる行動が多く確認された。	写真クマH-3,4

動物・生態系	A つがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月23～24日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・1回出現し、誇示飛翔やとまりが確認された。	—
			5月15日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣全てで繁殖は行われていなかった。	写真オオA-1
			5月15～16日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・1回出現したが、確認された個体は対象つがいではない若鳥であった。	—
			6月12日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・オオタカのものとは推定される新たな巣を確認した。巣内に青葉が確認され、本年造巣したものと考えられたが、繁殖は行われていなかった。	写真オオA-2
			6月27～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・オオタカは確認されなかった。	—
	B つがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月25～26日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計3回出現し、営巣地周辺でノスリに対する追い出し行動が確認された。	写真オオB-1
			5月16日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣全てで繁殖は行われていなかった。	写真オオB-2
			5月17～18日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・1回出現し、トビに対する追い出し行動が確認された。	写真オオB-3
			6月13日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・新たに繁殖中の巣が特定された。巣内には雛3個体が確認された。	写真オオB-4
			6月25～26日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計2回出現し、尾根上でメスのとまりが確認された。	写真オオB-5
	D つがい オオタカ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	4月27～28日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・合計6回出現した。確認された成鳥はいずれも隣接するCつがいと推定された。	写真オオD-1
			5月16日に営巣場所を特定するための踏査を実施した。 ・既知の巣で繁殖は行われていなかった。 ・隣接するCつがいの巣では抱卵行動が確認され、繁殖を行っていることが明らかとなった。	写真オオD-2
			5月17～18日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計7回出現した。確認された成鳥はいずれも隣接するCつがいと推定された。	写真オオD-3
			6月14日に繁殖状況を確認するための踏査を実施した。 ・新たな巣は確認されなかった。 ・隣接するCつがいの巣では繁殖が継続していた（雛1個体を確認）。	—
			6月29～30日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計6回出現したが、確認された成鳥は、いずれも隣接するCつがいと推定された。 ・隣接するCつがいの営巣地では、巣内に雛1個体と林内で幼鳥1個体が確認され、繁殖は成功していた。	写真オオD-4

動物	ハチクマ	繁殖状況及び行動圏等を把握する調査	5月24～25日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計21回出現し、複数個体の飛翔が確認された。	写真ハチ -1,2
			6月14～15日に行動圏を把握するための定点調査を実施した。 ・他項目調査も含めて合計32回出現した。広範囲に複数個体の飛翔が確認された。餌運搬が1例確認されたが、対象事業実施区域から離れるように遠方へ飛去した。	写真ハチ -3,4
	ツミ	繁殖を示唆する行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計12回出現した。繁殖に係る行動として餌運搬や追い出し行動が確認された。	—
	ハイタカ	繁殖を示唆する行動等の確認	上記、クマタカ・オオタカ・ハチクマの調査の中で確認調査を実施した。 ・合計24回出現した。繁殖に係る行動として餌運搬や追い出し行動が確認された。	—
動物・生態系	本州中部亜種 ゴマシジミ	奈川のゴマシジミ 生息地の保全	6月25日に環境保全措置（ワレモコウ約500株及びハラクシケアリの巣6箇所の移植）を実施した箇所について、生育・生息状況や環境の変化を把握する調査を実施した。 ・約400株のワレモコウの生育を確認し、3箇所のハラクシケアリの巣を確認した。 ・ワレモコウ周辺にその他の雑草が繁茂していたため、環境整備として草刈りを実施した。	写真ゴマ -1,2
			6月26日にハラクシケアリの巣の確認調査を実施した。 ・合計38箇所でハラクシケアリの巣を確認した。	写真ゴマ -3
動物	本州中部亜種 ヒヨウモンチョウ	個体数の確認	6月25～26日にヒヨウモンチョウの確認調査を実施した。 ・対象事業実施区域周辺では、G1及びG3で各1個体が確認され、対象区のG4では、2個体が確認された。	写真ヒョ -1



## 環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチー1
	撮影日	平成 30 年 5 月 17 日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対象種	イチヨウラン
	写 真 番 号	イチー2
	撮影日	平成 30 年 5 月 17 日
	生育環境の状況	
	保 全 対象種	ヒトツボクロ
	写 真 番 号	ヒトー1
	撮影日	平成 30 年 6 月 20 日
	移植個体の生育状況	





保 全 対象種	ヒトツボクロ
------------	--------

写 真 番 号	ヒトー2
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 20 日
-----	------------------

生育環境の状況



保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
------------	-------------

写 真 番 号	ベニー1
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 20 日
-----	------------------

移植個体の生育状況



保 全 対象種	ベニバナヤマシャクヤク
------------	-------------

写 真 番 号	ベニー2
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 20 日
-----	------------------

生育環境の状況





保 全 対象種	ボタン属の一種
写 真 番 号	ボター1
撮影日	平成 30 年 5 月 17 日

移植個体の生育状況



保 全 対象種	ボタン属の一種
写 真 番 号	ボター2
撮影日	平成 30 年 5 月 17 日



生育環境の状況



保 全 対象種	サナギイチゴ
写 真 番 号	サナー1
撮影日	平成 30 年 5 月 18 日

移植個体の生育状況



	保 全 対 象 種	サナギイチゴ
	写 真 番 号	サナー2
	撮 影 日	平成 30 年 5 月 18 日
	生育環境の状況	
	保 全 対 象 種	オオヤマヤタバミ
	写 真 番 号	オオー1
	撮 影 日	平成 30 年 5 月 17 日
	移植個体の生育状況	
	保 全 対 象 種	オオヤマヤタバミ
	写 真 番 号	オオー2
	撮 影 日	平成 30 年 5 月 17 日
	生育環境の状況	





保 全 対象種	マキノスミレ
------------	--------

写 真 番 号	マキ-1
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 21 日
-----	------------------

移植個体の生育状況



保 全 対象種	マキノスミレ
------------	--------

写 真 番 号	マキ-2
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 21 日
-----	------------------

生育環境の状況



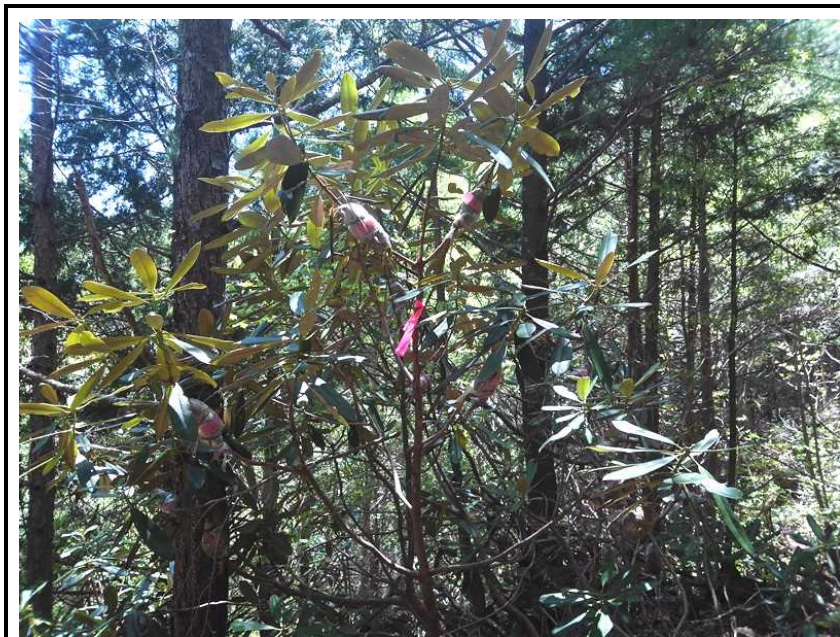
保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョ-1
------------	------

撮影日	平成 30 年 5 月 14 日
-----	------------------

切り離れた伏せ取り木の状況





保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー2
------------	------

撮影日	平成 30 年 5 月 14 日
-----	------------------

高取り木の状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー3
------------	------

撮影日	平成 30 年 5 月 23 日
-----	------------------

移植個体の生育状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
------------	------------

写 真 番 号	キョー4
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 30 日
-----	------------------

接ぎ木栽培の生育状況





保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
写 真 番 号	キョー5
撮影日	平成 30 年 6 月 30 日

挿し木栽培の生育状況



保 全 対象種	キョウマルシヤクナゲ
写 真 番 号	キョー6
撮影日	平成 30 年 6 月 30 日

伏せ取り木栽培の生育状況



保 全 対象種	ダイセンミツバツツジ
写 真 番 号	ダイー1
撮影日	平成 30 年 4 月 16 日

移植個体の生育状況





保 全 対象種	ダイセンミツバツツジ
------------	------------

写 真 番 号	ダイ-2
------------	------

撮影日	平成 30 年 4 月 16 日
-----	------------------

生育環境の状況



保 全 対象種	ケヤマウツボ
------------	--------

写 真 番 号	ケヤ-1
------------	------

撮影日	平成 30 年 5 月 17 日
-----	------------------

移植個体の生育状況






保 全 対象種	ケヤマウツボ
------------	--------

写 真 番 号	ケヤ-2
------------	------

撮影日	平成 30 年 5 月 17 日
-----	------------------

生育環境の状況



	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-1
	撮影日	平成 30 年 4 月 27 日
	クマタカAつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-2
	撮影日	平成 30 年 4 月 26 日
	クマタカAつがいの巣  巣は落下していた	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマA-3
	撮影日	平成 30 年 5 月 15 日
	落下した巣とは別に、同じ木の横枝に造りかけの巣のようなものを確認した。	

	保 全 対 象 種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-1
	撮 影 日	平成 30 年 5 月 22 日
クマタカDつがいの繁殖巣 抱卵するメス（矢印の先に尾羽がみえる）		
	保 全 対 象 種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-2
	撮 影 日	平成 30 年 6 月 29 日
クマタカDつがいの繁殖巣とメス		
	保 全 対 象 種	クマタカ
	写 真 番 号	クマD-3
	撮 影 日	平成 30 年 6 月 28 日
クマタカDつがいのオス		





保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマE-1
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 22 日
-----	------------------

クマタカEつがいの巣  
繁殖は行われていなかった



保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマE-2
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 22 日
-----	------------------

既知の古巣  
巢内に青葉が確認されたが、繁殖は行われていなかった






保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマE-3
------------	-------

撮影日	平成 30 年 6 月 30 日
-----	------------------

クマタカEつがいのメス

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマE-4
	撮影日	平成 30 年 6 月 30 日
	クマタカEつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-1
	撮影日	平成 30 年 4 月 24 日
	営巣地付近に長時間とまるクマタカFつがいのメス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマF-2
	撮影日	平成 30 年 4 月 24 日
	クマタカFつがいのオス	



保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマF-3
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 23 日
-----	------------------

クマタカ Fつがいの巣  
繁殖は行われていなかった



保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマF-4
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 21 日
-----	------------------

クマタカ Fつがいのメス



保 全 対象種	クマタカ
------------	------



写 真 番 号	クマF-5
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 21 日
-----	------------------

クマタカ Fつがいのオス



	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-1
	撮影日	平成 30 年 4 月 25 日
	クマタカGつがいの幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-2
	撮影日	平成 30 年 5 月 8 日
	既設鉄塔にとまるクマタカGつがい	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-3
	撮影日	平成 30 年 5 月 24 日
	クマタカGつがいの巣 繁殖は行われていなかった	

	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-4
	撮影日	平成 30 年 6 月 25 日
	クマタカGつがいのオス	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマG-5
	撮影日	平成 30 年 6 月 25 日
	クマタカGつがいの幼鳥	
	保 全 対象種	クマタカ
	写 真 番 号	クマH-1
	撮影日	平成 30 年 4 月 25 日
	クマタカHつがいのメス	



保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマH-2
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 22 日
-----	------------------

クマタカHつがいの巣

巣は大きく崩れていた



保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマH-3
------------	-------

撮影日	平成 30 年 6 月 26 日
-----	------------------

クマタカHつがいのメス



保 全 対象種	クマタカ
------------	------

写 真 番 号	クマH-4
------------	-------

撮影日	平成 30 年 6 月 26 日
-----	------------------

クマタカHつがいのオス





保 全 対象種	オオタカ
------------	------

写 真 番 号	オオA-1
------------	-------

撮影日	平成 30 年 5 月 15 日
-----	------------------

オオタカAつがいの巣  
繁殖は行われていなかった



保 全 対象種	オオタカ
------------	------

写 真 番 号	オオA-2
------------	-------

撮影日	平成 30 年 6 月 12 日
-----	------------------

新たに確認されたオオタカと推定される巣  
巣内に青葉が確認されたが、繁殖は行われていなかった



保 全 対象種	オオタカ
------------	------

写 真 番 号	オオB-1
------------	-------

撮影日	平成 30 年 4 月 25 日
-----	------------------

オオタカBつがいのオス





保 全  
対象種 オオタカ

写 真  
番 号 オオB-2

撮影日 平成 30 年 5 月 16 日

オオタカBつがいの巣  
繁殖は行われていなかった



保 全  
対象種 オオタカ

写 真  
番 号 オオB-3

撮影日 平成 30 年 5 月 17 日

オオタカBつがいのオス



保 全  
対象種 オオタカ

写 真  
番 号 オオB-4

撮影日 平成 30 年 6 月 13 日




新たに確認されたオオタカBつがいの繁殖巣

雛 3 個体を確認

	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオB-5
	撮影日	平成 30 年 6 月 25 日
	営巣地付近にとまるオオタカBつがいのオス	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-1
	撮影日	平成 30 年 4 月 27 日
	隣接するオオタカCつがいのオス	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-2
	撮影日	平成 30 年 5 月 16 日
	オオタカDつがいの巣  繁殖は行われていなかった	



	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-3
	撮影日	平成 30 年 5 月 25 日
	隣接するオオタカCつがいのオス	
	保 全 対象種	オオタカ
	写 真 番 号	オオD-4
	撮影日	平成 30 年 6 月 30 日
	隣接するオオタカCつがいの繁殖 巣  巣立ち間際の雛 1 個体を確認	
	保 全 対象種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチ-1
	撮影日	平成 30 年 5 月 24 日
	ハチクマのメス	

	保 全 対 象 種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチ-2
	撮 影 日	平成 30 年 5 月 24 日
	ハチクマのオス	
	保 全 対 象 種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチ-3
	撮 影 日	平成 30 年 6 月 26 日
	ハチクマのメス	
	保 全 対 象 種	ハチクマ
	写 真 番 号	ハチ-4
	撮 影 日	平成 30 年 6 月 26 日
	ハチクマのオス	



保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
------------	-------------

写 真 番 号	ゴマ-1
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 25 日
-----	------------------

ワレモコウの生育状況



保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
------------	-------------

写 真 番 号	ゴマ-2
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 25 日
-----	------------------

確認されたハラクシケアリ



保 全 対象種	ゴマシジミ本州中部亜種
------------	-------------

写 真 番 号	ゴマ-3
------------	------

撮影日	平成 30 年 6 月 26 日
-----	------------------

確認されたハラクシケアリの巣

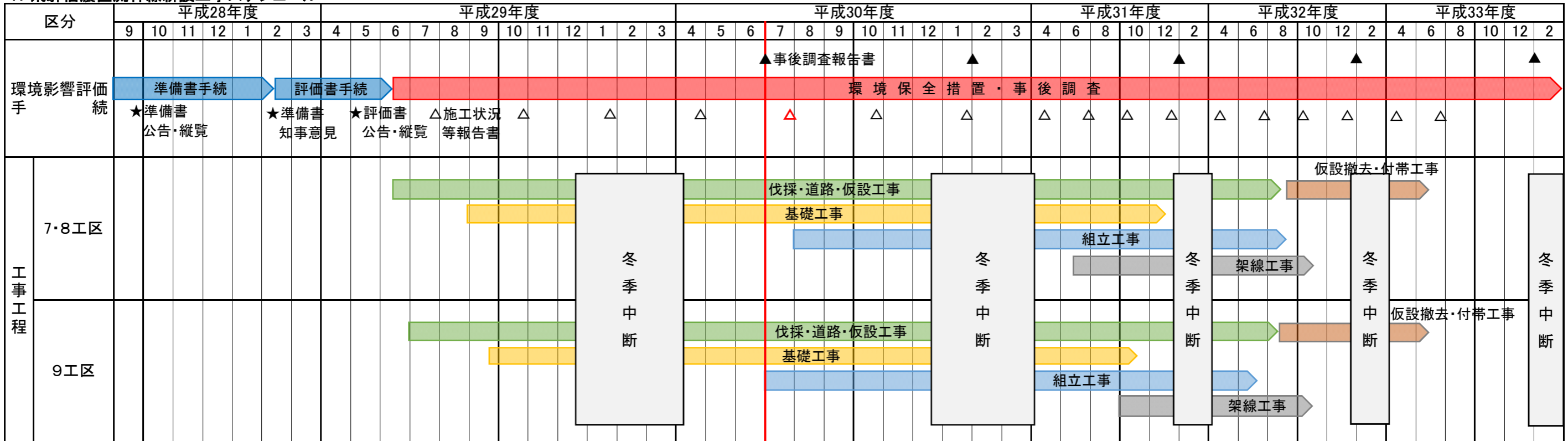




保 全 対象種	ヒヨウモンチョウ 本州中部亜種
写 真 番 号	ヒヨ-1
撮影日	平成 30 年 6 月 26 日
確認されたヒヨウモンチョウ本州 中部亜種	

施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 飛騨信濃直流幹線新設工事スケジュール



2. 対象事業の実施状況一覧

年 度	平成29年度				平成30年度				
	回数	第1回報告	第2回報告	第3回報告	第4回報告	第5回報告	第6回報告	第7回報告	第8回報告
報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	10月～12月	
実施状況	平成29年6月12日、伐採工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県に提出した。	鉄塔敷地及び工事用地内の伐採工事及び仮設工事、資機材運搬のための道路工事及びモノレールの仮設工事を実施中である。	鉄塔敷地及び工事用地内の伐採工事及び仮設工事、資機材運搬のための道路工事を実施中であり、10月より基礎工事を開始した。	工事は1月より冬季中断していたが、9工区の一部で3月に新信濃変電所構内の基礎工事・組立工事(No.197)を実施した。また、3月中旬より除雪を開始し、4月上旬から工事を再開している。	4月上旬より工事再開。主な工事内容は、工事用地内の伐採工事、仮設工事、資機材運搬のための道路工事等の準備工事。完了した箇所については逐次基礎工事に着手。一部鉄塔(No.197)では鉄塔組立工事が完了した。				
※詳細は別紙「工事実施箇所一覧表」による	[工事状況] ・7・8工区 工事中 2基 ・9工区 工事中 0基	[工事状況] ・7・8工区 工事中 12基 ・9工区 工事中 8基	[工事状況] ・7・8工区 工事中 17基 ・9工区 工事中 12基	[工事状況] ・7・8工区 冬季中断 ・9工区 工事中 1基	[工事状況] ・7・8工区 工事中 27基 ・9工区 工事中 11基				
年 度	平成31年度				平成32年度				
回数	第9回報告	第10回報告	第11回報告	第12回報告	第13回報告	第14回報告	第15回報告	第16回報告	
報告対象期	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
実施状況									
※詳細は別紙「工事実施箇所一覧表」による									

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
125		—							
126						↑			
127		—							
128									
129									
130									
131									
132	●	—							
133									
134									
135	●	●	●	○			↓		
136	●	●	●	○					
137	●	●	●	○					
138	●	●	●	○					
139	●	●	●	●					
140	●	●	●	●					
141	●	●	●	●					
142	●	—	●	●					
143	●	●	●			↓			
144	●	●	●						
145	●	●	●						
146	●	●	●						
147									
148	●	—				↓			
149	●								
150	●	○							
151	●	●							
152	●	●	○						
153	●	●	●	○					

○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了



鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
154	●	●	●	○		↓ ↑  ↓ ↑  ↓			
155	●	●	●	○					
156	●	●	●	○					
157	●	●	●	○					
158	●	●	●	○					
159									
160									
161		○							
162		○							
163									
164		●							
165		●							
166									
167									
168		○							
169		○							
170									
171		—							
172		—							

工事実施箇所一覧表(9工区)

別紙

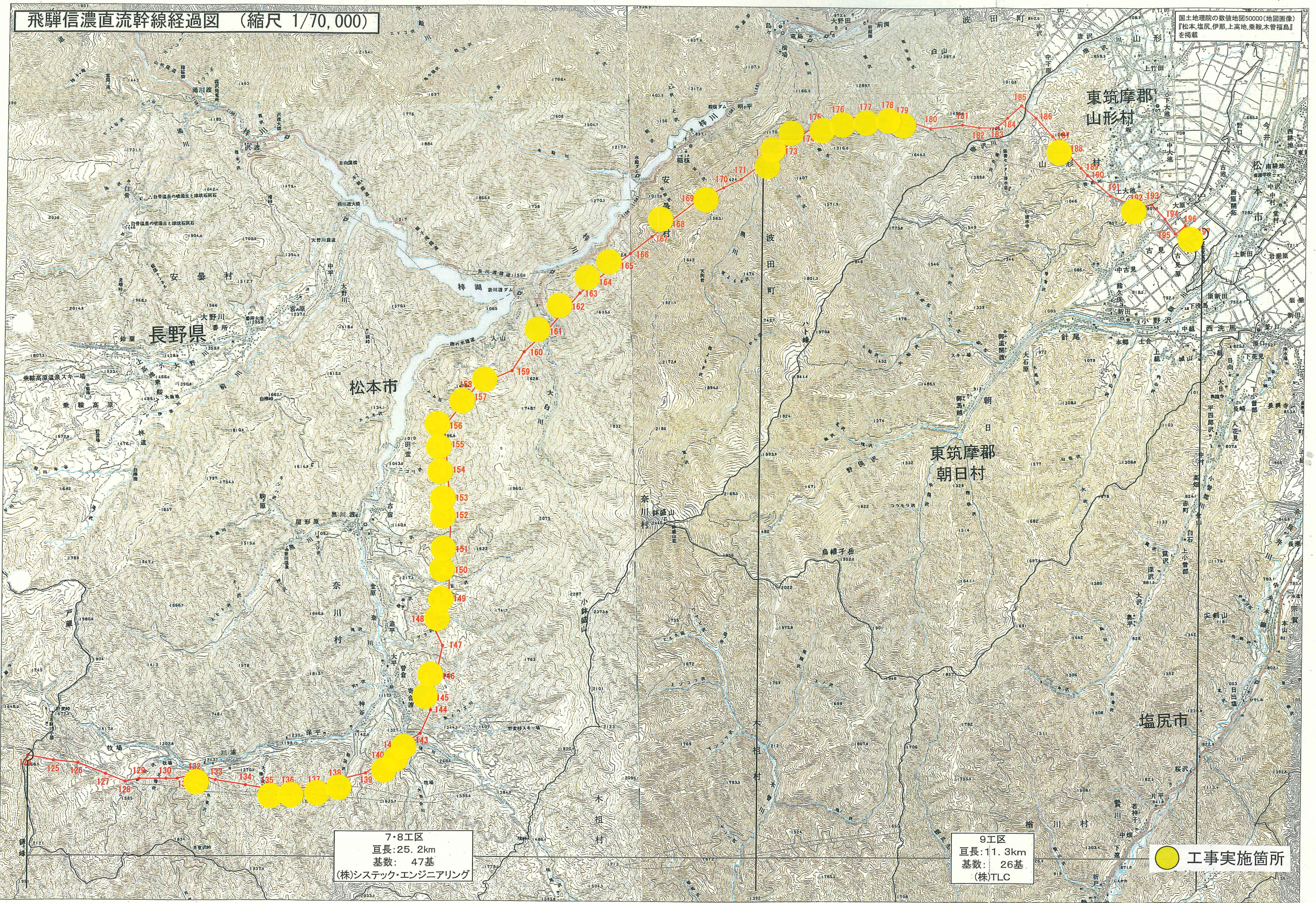
○:工事中 △:冬季中断 ●:工事完了

鉄塔番号	伐採工事	道路工事	仮設工事	基礎工事	組立工事	架線工事	仮設撤去	付帯工事	備考
172		●				↑ ↓			
173	●	●	●	●					
174		●							
175		●							
176	●	●	●	○					
177	●	—	●	○					
178	●	—	●	○					
179	●	—	●	○					
180	●	—							
181	●	—							
182	●	—							
183	●	—							
184	●								
185	●	—							
186									
187									
188	○	○							
189									
190		—							
191									
192	●	○							
193									
194		—							
195		—							
196		—							
197	—	—	●	●	●				



飛騨信濃直流幹線經過図 (縮尺 1/70,000)

国土地理院の数値地図50000(地図画像)  
 『松本、塩尻、伊那、上高地、乗鞍木曾福島』  
 を掲載



7・8工区  
 巨長: 25.2km  
 基数: 47基  
 (株)システック・エンジニアリング

9工区  
 巨長: 11.3km  
 基数: 26基  
 (株)TLC

● 工事実施箇所